

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2025年 7月 31日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあつては、名称及び代表者名）
京都市南区上鳥羽鉾立町11番地5	株式会社堀場エステック 代表取締役社長 堀場 弾
	電話番号：075-693-2300

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	株式会社堀場エステック本社工場 他拠点
導入年月日	1997年 6月 4日
認証番号	JQA-E-90039
基本方針	私たちの技術を応用し、科学技術の発展と環境、健康に貢献するとともに、法規制及び社会的規範を遵守することを通じて、サステナブルな社会を実現します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	【カーボンニュートラル社会の実現に貢献】 1. サブライフェンを含めたCO2排出量の削減(サブライフェン排出量全体像の把握) ※中期目標：エネルギー使用量2023年度基準で2033年までに42%削減 ※2025年度目標：エネルギー使用量2023年度比10%削減 2. 廃棄物削減・ゼロエミッションの維持 ※2025年度目標：廃棄物処理原単位（総排出量÷売上高）前年比3%減 3. 正確な水使用量の把握と2024年度1%削減（原単位）
目標を達成するための取組の内容	上記1. ①夜間休日など不要時の待機電力削減、営業日の3分の1以下へ。 ②各現場の省エネ活動により電気・ガスの使用効率を1%向上。 ③GHGの適切な管理。 ④サブライフェン排出量全体像の把握。 上記2. 分別作業の強化および社内教育の実施。 上記3. 事業活動と生物多様性・自然資本との関係性の把握と整理。
目標を達成するための取組の進捗状況	CO2排出量削減に向け従前より継続的に4半期に1度の省エネ委員会を開催。担当役員、各エリア責任者出席のもと、直近のエネルギー使用状況の推移とその要因の分析、実施した省エネ対策の評価、今後の課題について情報共有を行い、今後の省エネ活動につなげている。 また廃棄物削減については、分別精度を上げリサイクル率の向上を推進する教育を社員全員に対して実施。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	継続してエネルギー使用量の多い設備から省エネ対策を実施してきたが、現在に至っては大幅な削減材料が見当たらず排出に苦慮している状況。 一方、業績面では上向き傾向にあり新規大型設備の導入などエネルギー使用量が増加しており、継続した省エネ活動と併せて、電力会社環境価値メニューの早急な導入を検討している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年定期的に全社的な各種関係法令の遵守評価を実施しており、法令に反する事案は発生していない。 また法改正の対応については社内の指示ルートを通じて業務担当者が情報提供を受け、適宜リサーチし必要な対応を行なっている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年、半期に1度の担当役員を含めたIMS推進会議にて、半期または通期の実績報告と今後の課題検討を実施。 年度末には1年間の振り返りと次年度の目標が検討され決定。システム導入時より毎年目標を掲げ一定の効果が見られるため継続して運用している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。